

合気道小林道場昇段審査規定

平成22年度 (2010年)

受 験 資 格		審 査 技
初 段 1級取得後80日 以上稽古した者 (年齢16歳以上)	剣 杖 変化応用技 立 技 半身半立技 座 技 自 由 技	剣の合わせ(7本)、気結びの太刀(1本) 素振り・切り返し・突き(立技・座技)、足の踏みかえの部(立技) 杖前後の移動:突・面・片手の部(左・右半身)、杖の合わせ(8本) 22の杖(左半身)、突・面・片手・八双・流れの部(左・右半身) 座技呼吸法3種(基本、上からおさえつける、引きつける) 肩取面打・一教～四教、入身投、小手返し(各2種)、四方投(1種) 両肩取・一教～四教、入身投、 突き(中段)・三教、四教、入身投、腰投 後両肘取・一教～四教、小手返し 後両肩取・入身投、合気落とし 後片手取首縮・十字がらみ投、腰投、腕がらみ 横 面 打・一教～四教、小手返し、回転投(内・外回転) 片 手 取・四方投、入身投 後片手取首縮・三教投 両 手 取・一教～四教、小手返し、入身投 横 面 打・一教～四教、小手返し、入身投 片手両手取、正面打、後両手取、突き
弐 段 初段取得後2年 以上経過し 200日以上 稽古した者	剣 杖 連 続 技 返 し 技 短刀取り 立 技 半身半立技 座 技 二人取り 二人掛け	組太刀(5本)及び初段の技 杖前後の移動(左・右半身):突・面・片手・八双・流れの部 組杖(7本)、31の杖(左・右半身) 正面打一教返しから・小手返し、入身投、四方投 突き二教(裏)から・自由技 横面打三教(裏)から・自由技 正面打一教(表)→入身投、小手返し、一教 逆半身片手取二教(裏)→入身投、三教、二教 突き小手返し→入身投、四方投、小手返し 正面打、横面打、突き(各2種) 突き(上段)・一教～四教、小手返し、四方投、回転投、回転おさえ、腕がらみ 後両肘取・一教～四教、小手返し、合気落とし、呼吸投 後片手取首縮・一教～四教、合気落とし、呼吸投、腰投 横面打・一教～四教、入身投、四方投 後両肩取・一教～四教、呼吸投、小手返し 片手両手取・一教～四教、小手返し、入身投 肩取・一教～四教、入身投 突き・一教～四教、小手返し、入身投 呼吸投-2種・二教 自由攻撃
参 段 弐段取得後 3年以上経過し 300日以上 稽古した者	剣 杖 変化応用技 返 し 技 短刀取り 太刀取り 杖取り 立 技 半身半立技 座 技 二人取り 三人掛け	組太刀変化(剣の理)及び初段・弐段の技 13の杖合わせ(杖対杖)及び初段・弐段の技 胸をねじられて持たれた時・一教～四教、入身投-2種 片手両手取 呼吸法-3種(基本、肘を持ち上げる、ねじる) 入身投、四方投、三教(各3種) 正面打、横面打、突き(各3種) 肩取→前から付ける、後襟取→後ろから付ける(各2種) 正面打、横面打(各3種)、突き(1種) 突き(3種)、持たせて(5種) 片手両手取・入身投、四方投(各3種)、自由技 突 き(中段)・三教、四教、入身投(各2種)、自由技 後片手首縮め・腰投(3種)、 後羽交い締め・入身投 正 面 打・自由技 片 手 取・自由技 突 き(中段)・自由技 横 面 打・自由技 四方投、四教、呼吸投 自由攻撃
四 段 参段取得後4年以上 経過し300日以上 稽古した者		8級から5級の基本動作及び 初段から参段のすべての技 組太刀変化(体の理)、新組杖(10本) 論文(800字前後) テーマ「初心者の指導法」又は「合気道の稽古で得たもの」 *審査用紙と共に提出すること

注意

- (1) 審査用紙・有段者登録証は10日前迄に審査料及び登録料を添えて提出すること。
- (2) 審査願に現在段級の取得年月を必ず記入すること
- (3) 各自剣、杖、短刀は持参すること。
- (4) 見学は自由とするが、写真、ビデオ等の撮影は禁止する。
- (5) 審査会場には30分前までに集合すること。遅刻の場合は受験不可とする。
- (6) 初段以上の受験者は、指導担当者の受験許可を要する。
- (7) 合宿・演武会等の行事参加者は審査採点時に加算する。
- (8) 不合格の場合、初段は半年、弐段以上は1年審査を受験する事が出来ません